

教科名		【教科:数学科】	教科書調査報告(教科書調査委員会)
発行者名		東京書籍	大日本図書
調査の観点			
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元冒頭の「章のとびら」による導入の内容や段階的な説明があり、学習の見通しをもちやすい。</li> <li>・各ページの学習テーマが最上段に明示されているので、授業ごとの目標を把握しやすい。</li> <li>・学習する内容がページの上部に書かれている。また、生徒の理解を促すヒントが吹き出しを使って書かれているなど、工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例題や説明が随所にあり、一つ一つ解き方を確認しながら進めることができる。また「めあて」「活動」「確かめ」等と、ページ構成に工夫がされているので、授業で扱いやすく、復習もしやすい。</li> <li>・毎時間のめあてが書いてあり、学習する内容が分かり、見通しがもちやすい。</li> <li>・目次と問題横に前年度までの既習事項が書かれているので、振り返る箇所が明確で分かりやすい。</li> <li>・巻末に1年間のまとめがあり、単元ごとに切り離せるので復習をする際に扱いやすい。</li> </ul>
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「考えてみよう」では課題解決のための手だてが明確に示されており、生徒が主体的に取り組める工夫がされている。</li> <li>・「深い学びのページ」では「数学の問題発見・解決の過程」を示したり、生徒が見方・考え方を働かせるきっかけとなる箇所に「虫めがねマーク」を付けたりすることで、日々の学習を通して思考力、表現力、判断力を育むための工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各章に問題発見・問題解決の流れの4つのステップを示してあるので、ステップを意識しながら問題解決の方法を身に付けることができる工夫がされている。</li> <li>・「たしかめ」や練習問題のほかに「Q判断しよう」「Q伝えよう」という、学習した内容を基に判断したり表現したりする問いが設けられており、思考力・判断力、表現力を育むための工夫がされている。</li> </ul>
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携への取り組みやSDGsへの課題があり、時代に即したつくりになっている。</li> <li>・「章の問題B」ではインターネット上のコンテンツを活用した学習を進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書のほかにウェブコンテンツが多く用意しており、自らQRコードを読み込むだけでヒントを確認できるような工夫がされている。</li> <li>・単元の終末にある「活用・探究」、「社会にリンク」では、数学に興味を抱くような内容が充実している。</li> </ul>
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「防災・安全」「環境」「人権・多様性の尊重」「伝統文化の尊重」「オリパラ」等、実社会や他教科への活用として内容が充実している。</li> <li>・実社会のデータを用いることでキャリア教育にもつながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの17項目のうち9項目に関連させた内容になっており、ESDの視点が養える工夫がある。</li> <li>・他教科への関連のマークの記載がある。</li> </ul>
B 使用 上の 便宜 について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入場面では日常生活の場面や作業的な活動を取り入れ、生徒の関心・意欲を高め、主体的に学習に取り組めるようになっており、問題のあとに補助発問を設けることで生徒が自ら活動を進められるように工夫されている。</li> <li>・「章の問題B」では活用問題が充実しており、既習事項を使って数学的な見方・考え方を育むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭の「この教科書の使い方」というページで教科書の構成や使用されているマークを説明することで、生徒が自ら学習を進めていけるようになっている。</li> <li>・各章に導入の活動を設け生徒の関心・意欲を高めて、主体的に学習に取り組めるようになっている。</li> </ul>
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温などの統計資料は東京都を含め、全国のものが使われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3学年の標本調査で多摩市が行った市政世論調査の結果が使われている。</li> </ul>

教科名		【教科:数学科】	教科書調査報告(教科書調査委員会)
発行者名		学校図書	教育出版
調査の観点			
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な計算問題が載っており、特に基礎・基本となる問題が多く出題されている。小単元の順序が工夫されており、学習を進めるとともに既習内容の確認ができる。また章末には、振り返りのページもあり、活用しやすい。</li> <li>・目次や章前、問題横に「ふりかえり」があり、既習事項の確認がしやすい。</li> <li>・「計算力を高めよう」というページが単元の終末にあり、既習事項の基本的な計算問題に一人一人で行き届くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ページにおいて文字量が少なく、要点を視覚的に捉えられるようにまとまっているので情報を整理しやすい。また各ページに設けられている「もどって確認」の欄には既習事項が記載されており、復習しながら進められる。</li> <li>・章前に「〇〇を学習する前に」、章の最後に「学習のまとめ」があり、基礎的な学習内容の確認ができる。</li> <li>・巻末に“学びのマップ”として小学校からの既習事項が系統立てて丁寧なまとめられている。</li> </ul>
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「数学的活動」のページを活用して、課題解決的な学習の取り組み方を身に付けることができる。また、「新たな問題を見つけよう」で学習内容を深める工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各章に「学びのまとめ」があり、既習事項を確認してから章末問題に取り組める工夫がされている。</li> <li>・「学んだことを活用しよう」では、身近にある現象を数学的に考える問題となっている。</li> </ul>
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な問題が多く、時代に即したものになっている。特に導入課題が工夫されていて、興味・関心を引くにはとてもよい題材となっている。</li> <li>・「役立つ数学」では、既習事項の数学が身近な現代社会において活用されている様子を、専門的な分野から紹介している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会に即した問題が多く、時代に合わせて作られている。特に「レッツトライ」や数学の広場などの題材は実社会に即した内容になっている。</li> </ul>
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsに触れて、実社会に目を向けた題材を多く取り扱っている。</li> <li>・活用の問題では身の回りにある数学と関連付けて学びの有用性を実感することができる内容になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年のデータ分析や第3学年の二次関数などを通してSDGsに関連した教材を多数掲載している。また、カリキュラム・マネジメントもできるよう、様々な教科と関連付けてつくられている。</li> <li>・「数学の広場」で数学を仕事に生かしている人の話があり、キャリア教育の教材も含まれている。</li> </ul>
B 使用 上の 便宜 について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・章の導入では身近な場面やゲームなどの活動を取り入れ、生徒の関心・意欲を高め、自ら問題を見つけて学習に取り組めるように工夫がされている。</li> <li>・導入の課題が生徒にとって興味深い内容となっており、単元の入り口に適している題材を扱っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自ら問いをもてるように重要な問いに「？」マークを付けて強調したり、自ら学習を進められるように問題解決のプロセスを示したりしたページがある。</li> <li>・本文中に側注として「数学的な考え方」を明示し、日々の学習の中で数学的な見方・考え方を意識しながら学習を進められるように工夫されている。</li> </ul>
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の写真や降水量など、東京都を含め全国のものが使われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データは場所を特定せずに使っているものが多く、第2学年のデータの比較では全国の気温を使っている。</li> </ul>

教科名		【教科:数学科】	教科書調査報告(教科書調査委員会)
発行者名		新興出版社啓林館	数研出版
調査の観点			
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な事例を用いた例題が充実しており、内容の説明が丁寧である。何を考える問題なのか分かりやすく構成されている。また証明問題において、図を用いて分かりやすく説明している。</li> <li>既習事項は使う場面で「ふりかえり」として書かれている。第1学年の『自分から学ぼう編』に算数の復習がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の学習の前に既習事項の振り返りが載っているため、基礎・基本の定着とともに、新単元の学習での既習事項の活用を意識付けることができる。</li> <li>巻末には各学年までの内容が領域ごとにまとめられており、基礎・基本の確認に使いやすい。</li> </ul>
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「虫眼鏡」によって繰り返し数学的な見方・考え方に触れることができ、教科書の中の随所に配置されているところから、生徒は数学的な見方・考え方を意識して学習に臨むことができる。</li> <li>問題発見・解決の過程がステップで示されており、段階的に思考を深めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「TRY」及び「Q」での教師と生徒のキャラクターの会話から授業の展開が明確に示されており、主体的に考えることのできる工夫がされている。</li> <li>「探究ノート」を活用することで問題解決力を育む工夫がなされている。</li> </ul>
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラミングの内容も扱っており、QRコンテンツでプログラミングを体験できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元ごとに身近な課題と関連付けたページが用意され、自分事として捉えて学習を進めることができ、学びに向かう力を養うことができる。</li> </ul>
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な今日的な課題を多く取り扱うことでESDにつなげ、カリキュラム・マネジメントを意識した活動ができるよう作成されている。</li> <li>SDGsに対応した題材を扱っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章において他教科の題材を利用した数学的な課題があり、教科等横断的な指導ができる。また、巻末などにある身近な課題における数学的事象を用いてカリキュラム・マネジメントができる。</li> <li>「数学旅行」では、地球温暖化問題の話題を通して、環境保全に対する意識が高まるようにしている。</li> </ul>
B 使用 上の 便宜 について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>章の導入では身近な生活場面を取り上げることで生徒の関心・意欲を高め、主体的に学習に取り組めるように工夫がされている。</li> <li>章末にQRコードを掲載している。家庭学習を行う上ですすんで自分の考えや回答を確認することができるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章の前に「ふりかえり」のページを設け新しい学習内容に取り組みやすい工夫がされている。</li> </ul>
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2学年では東京の気温の過去と最近のデータを比較している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2学年では道のりを求める問題に青梅マラソンの写真を用いたり、合同な図形を示す際に東京都調布市の武蔵野の森「総合スポーツプラザ」の写真を用いたりしている。</li> </ul>

教科名		【教科:数学科】	教科書調査報告(教科書調査委員会)
発行者名		日本文教出版	
調査の観点			
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「考えよう・話し合おう・振り返ろう・深めよう」が明確になっているので、習熟度に応じた展開ができる。</li> <li>・章前に「次の章を学ぶ前に」があり、既習事項を確認できる。</li> <li>・毎時間のめあてが書かれていて学習する内容が分かりやすい。</li> </ul>	
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大切な見方・考え方」でそれぞれの学習場面で働かせる数学的な見方・考え方が具体的に示されており、条件を変えたり、新しい問題をつくったりするなど、発展的に考えることができる。</li> <li>・「対話シート」を活用して対話的で深い学びの実現を図ることができる。</li> </ul>	
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の中に「数学のたんけん」として身近な課題が設けられており、自分事として捉えて学習を進めることができる。</li> </ul>	
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点を取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な教科と関連した課題が設定されており、中には持続可能な社会づくりにつながる課題もある。</li> <li>・「数学を仕事に生かす」で数学を仕事に生かしている人の話があり、キャリア教育につながる内容も含まれている。</li> </ul>	
B 使用 上の 便宜 について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「次の章を学ぶ前に」という次章の学習につながるページがあり、新しい学習内容の準備と見通しをもつことができる工夫がされている。</li> </ul>	
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2学年では、東京都を含め全国の気温を使っている。</li> </ul>	